

回答用番号

Page 10 of 10

以下について、あてはまるものに○をつけてください。(○は各設問ごとに1つ)

F1 性別

1	男 性	2	女 性	3	男性女性以外の性
---	-----	---	-----	---	----------

※ご自身が認識する性別でお答えください。

F2 年 齡

1	20歳未満	4	30～34歳	7	45～49歳	10	60～64歳
2	20～24歳	5	35～39歳	8	50～54歳	11	65～69歳
3	25～29歳	6	40～44歳	9	55～59歳	12	70歳以上

F3 あなたの世帯の構成はどのようになっていますか。

1	単身世帯（ひとり暮らし）	4	三世代世帯（親と子どもと孫）
2	一世代世帯（夫婦，事実婚，カップル）	5	その他 （ ）
3	二世代世帯（親と子ども）		

F4 あなたは、現在結婚していますか。

1	結婚している（未婚だがパートナーと暮らしている）	
2	離別・死別	3 未婚

F4で「1 結婚している（未婚だがパートナーと暮らしている）」とお答えの方のみ

F 4-1 ご自身および配偶者・パートナーの就労状況は次のどれですか。

1	共働きしている	3	配偶者・パートナーだけ働いている
2	自分だけ働いている	4	どちらも働いていない

F 5 あなたにお子さん（同居，別居を問わず）はいますか。また，一番下のお子さんは，現在，次のどれですか。

1	小学校入学前	5	大学生
2	小学生	6	その他（社会人含む）
3	中学生	7	いない
4	高校生		

F 6 あなたの仕事（職業）は、次のどれですか。

自 営 業 主	家 族 従 業 者	1	農林漁業
		2	商工・サービス業 （各種の卸・小売店，飲食店，理髪店，ホテル等のサービス業従事者）
		3	自由業（開業医，弁護士，著述業など）
勤 め 人		4	経営・管理職（会社・団体・官公庁の管理職）
		5	専門・技術職（教員，研究員，技術者，勤務医など）
		6	事務職（事務系会社員，事務系公務員など）
		7	販売・サービス嘱 （各種の卸・小売店，飲食店，理髪店等のサービス業従事者）
		8	生産・輸送・建設・労務職
そ の 他		9	その他（具体的に
			）
		10	学生
		11	家事専業
		12	無職
		13	その他（具体的に
			）

F 6で「勤め人」とお答えの方にお聞きます。

F 6-1 あなたのお仕事は、この中のどれですか。

1	役員
2	正規の職員・従業員
3	非正規の職員・従業員（契約社員，労働者派遣事務所の派遣社員を含む）

② 男女共同参画全般についてお伺いします

【問１】 あなたが男女共同参画に関する次の(1)～(8)の言葉について、聞いたことがありますか。
(それぞれ○は1つ)

	聞いたことがあり、意味も知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない
(1) 男女共同参画	1	2	3
(2) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
(3) DV（ドメスティック・バイオレンス）	1	2	3
(4) デートDV	1	2	3
(5) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
(6) マタニティ・ハラスメント	1	2	3
(7) パタニティ・ハラスメント	1	2	3
(8) 性的少数者	1	2	3

(1) 男女共同参画とは、誰もが性別に関わりなく個人として尊重され、社会の対等な構成員として、自らの意思によって、家庭、職場、学校、地域その他社会のあらゆる分野において、その個性と能力を発揮する機会が確保され、均等に利益を享受し、また共に責任を担うことをいいます。
(2)～(8)の言葉の意味については、関連する設問で説明します。

【問２】 あなたは、次の(1)～(8)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ○は1つ)

	男性が優遇されている	がどちらかといえれば男性	平等になっている	がどちらかといえれば女性	女性が優遇されている	どちらともいえない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2) 職場や就職活動	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育	1	2	3	4	5	6
(4) 自治会やPTA等の地域活動	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度	1	2	3	4	5	6
(6) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

【問3】 「男は仕事，女は家庭」という考えがありますが，あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 どちらともいえない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

③ 家庭生活についてお伺いします

【問4】 あなたは，家庭内で次の(1)～(7)にあげる事項についてどの程度たずさわっていますか。
 (それぞれ○は1つ)

	い つ も し て る	時 々 し て い る	ほ と ん い ど な し て い て	全 く し て い て な い
(1) 掃除	1	2	3	4
(2) 洗濯	1	2	3	4
(3) 食事の支度	1	2	3	4
(4) 食事の後片付け	1	2	3	4
(5) 育児	1	2	3	4
(6) 介護	1	2	3	4
(7) ゴミ出し	1	2	3	4

【問5】 あなたは子育てについて次の(1)～(6)にあげる考えを、どのように思いますか。(それぞれ○は1つ)

	賛 成	反 対	い ど ち な い と も
(1) 男の子も女の子もどちらも家事ができるように育てた方がよい	1	2	3
(2) 女の子は家事ができるように育てた方がよいが、男の子には必要ない	1	2	3
(3) 男の子も女の子もどちらも経済的に自立できるように育てた方がよい	1	2	3
(4) 男の子は経済的に自立できるように育てた方がよいが、女の子には必要ない	1	2	3
(5) 性別による役割を固定せず区別なく育てた方がよい	1	2	3
(6) 性別を意識して育てた方がよい	1	2	3

【問6】 高齢者の介護をする場合の家庭内での分担について、あなたはどのように考えますか。(○は1つ)

- 1 介護は女性が行った方がよい
- 2 どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい
- 3 介護は男性が行った方がよい
- 4 どちらかといえば男性が行った方がよいが、女性も協力した方がよい
- 5 男女どちらも同等に介護を分担した方がよい

④ 就業についてお伺いします

【問7】 仕事と家庭についての男性の考え方として、あなたが望ましいと思うのは、どのような考え方ですか。
(○は1つ)

- 1 家事・育児や地域活動は妻に任せ、仕事に専念する
- 2 家事・育児や地域活動を妻と分かち合い、仕事と家庭を両立させる
- 3 仕事は妻に任せ、家事・育児や地域活動に専念する
- 4 その他 ()

【問8】 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 結婚や出産にこだわらず、仕事を続けた方がよいと思う
- 2 結婚や出産後は仕事を辞め、育児が一段落した後、再び仕事に就く方がよいと思う
- 3 結婚を機に仕事を辞め、家事・育児に専念した方がよいと思う
- 4 女性は仕事に就かない方がよいと思う
- 5 その他 ()

【問9】 女性が仕事を続けていく上で、支障となっているものは何だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 家事・育児・介護との両立が難しい
- 2 家事・育児・介護への家族の協力が不十分
- 3 保育施設や老人福祉施設、介護サービスが利用しにくい
- 4 結婚や出産を契機として退職する慣行がある
- 5 家族の理解が得られない
- 6 「男は仕事、女は家庭」という社会通念がある
- 7 昇進・昇格・給与に男女格差がある
- 8 転勤や長時間労働がある
- 9 中高年の女性に対し退職の圧力がある
- 10 支障になることは特にない
- 11 その他 ()

【問10】 女性が働き続けるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

- 1 保育施設などの子育て支援サービスや福祉施設などの介護サービスの充実
- 2 男性の家事・育児などへの参加
- 3 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 4 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 5 労働条件の改善（昇進・昇格等）
- 6 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 7 職場における長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 8 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
- 9 結婚，出産退職後の再雇用制度の充実
- 10 その他（

⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について伺います

ワーク・ライフ・バランスとは、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる働き方、生き方のこと。

【問11】 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると思いますか。 （○は1つ）

- 1 実現できている
- 2 どちらかといえば実現できている
- 3 どちらかといえば実現できていない
- 4 実現できていない
- 5 どちらともいえない

問1で「3 どちらかといえば実現できていない」または「4 実現できていない」と答えた方にお聞きます。

【問12】 「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 長時間労働であるため
2 職場の理解がないため
3 職場に人的な余裕がないため
4 「男は仕事、女は家庭」といった考え方があるため
5 その他（

⑥ 人権についてお伺いします

【問13】 あなたが、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような場合だと思いますか。
(○は3つまで)

- 1 家庭内での配偶者やパートナーからの暴力
- 2 セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）
- 3 痴漢などのわいせつ行為
- 4 売春・買春・援助交際
- 5 ストーカー行為
- 6 風俗営業における就労
- 7 女性の体の一部やヌード写真などを内容に関係なく使用した広告など
- 8 容貌を競うコンテスト
- 9 「女医」「女流作家」のように女性だけに用いられる言葉
- 10 特になし
- 11 その他（ ）

【問14】 あなたはこれまでに、あなたの配偶者やパートナーまたは交際相手について、次のようなことを経験したことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 何を言っても無視され続ける
- 2 「誰のおかげで、おまえは生活できるんだ」とか「甲斐性なし」などの暴言を言われる
- 3 大声で怒鳴られる
- 4 メールや電話を細かく監視される
- 5 押したり、つかんだり、つねったり、こぶいたりされる
- 6 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる
- 7 医療機関の治療が必要となる暴力を受ける
- 8 嫌がっているのに性的な行為を強要される
- 9 生活費を渡されない
- 10 上記のことを配偶者やパートナー、交際相手にしたことがある
- 11 経験したことはない
- 12 その他（ ）

- ・ DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者やパートナーからの身体的・精神的な暴力のことをいいます。（問14選択肢参照）
- ・ デートDVとは、交際中のパートナー間でおきるDVのことをいいます。

【問15】 DVやデートDVについて、あなたは直接経験したり身近で見聞きしたことがありますか。（(1),(2)について、それぞれ○は1つ）

(1) 自分自身について

1 直接経験したことがある

2 直接経験したことがない

(2) 自分以外の人について

1 見聞きしたことがある

2 見聞きしたことがない

問15で自分自身が「1 直接経験したことがある」と答えた方にお聞きします。

【問16】 あなたは、誰（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

1 知人・友人

5 警察

9 相談しなかった

2 親族

6 弁護士

10 その他

3 行政の相談機関

7 医師

()

4 民間の相談機関

8 学校関係

問16で「9 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

【問17】 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 相談するほどのことでもなかったから

2 自分にも悪いところがあると思ったから

3 相談しても無駄だと思ったから

4 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから

5 他人を巻き込みたくなかったから

6 恥ずかしかったから

7 相手の行為は愛情の表現だと思ったから

8 誰に相談したらよいかわからなかったから

9 相談すると仕返しをされると思ったから

10 世間体が悪いから

11 その他 ()

⑦ ハラスメントについてお伺いします

- ・ セクシュアル・ハラスメントとは、職場などにおける性的な嫌がらせのこと。
- ・ マタニティ・ハラスメントとは、働く女性が妊娠・出産を理由として職場で受ける不利益な取扱いのこと。
- ・ パタニティ・ハラスメントとは、男性が育児参加する権利や機会を侵害する言動や嫌がらせのこと。

【問 18】 あなたはこれまで、(1)～(3)のハラスメントを直接経験したり、身近で見聞きしたことがありますか。 (それぞれ○は1つ)

	自分自身について		自分以外の人について	
	直接経験したことがある	直接経験したことがない	見聞きしたことがある	見聞きしたことがない
(1) セクシュアル・ハラスメント	1	2	1	2
(2) マタニティ・ハラスメント	1	2	1	2
(3) パタニティ・ハラスメント	1	2	1	2

問 18 で自分が直接経験したことがあると答えた方にお聞きます。

【問 19】 あなたは、誰（どこ）に相談しましたか。 (○はいくつでも)

1 知人・友人	4 民間の相談機関	7 相談しなかった
2 親族	5 警察	8 その他
3 行政の相談機関	6 弁護士	()

【問 20】 ハラスメントの防止のためには、どのような対策が必要だと考えますか。 (○はいくつでも)

1 法律制度の強化
2 相談機関の充実
3 職場の雇用主等の積極的な防止対策
4 ハラスメントに関する正しい知識の研修や啓発活動の充実
5 加害者に対するカウンセリングの実施
6 その他 ()

⑧ 性的少数者についてお伺いします

性的少数者とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど多様な性的指向（恋愛感情の対象となる性別）や性自認（自分が感じている性別）を持つ人のこと。

【問21】 現在、性的少数者の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。（〇は1つ）

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 思う | 4 | 思わない |
| 2 | どちらかといえば思う | 5 | どちらともいえない |
| 3 | どちらかといえば思わない | 6 | わからない |

問21で、「1 思う」または「2 どちらかといえば思う」と答えた方にお聞きます。

【問22】 性的少数者の方々に対する偏見や差別をなくし、性的少数者の方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 行政が市民等へ性的少数者への理解の促進のための周知啓発を行うこと
- 2 性別にかかわらず利用できる「だれでもトイレ」の設置
- 3 申請書等様式における性別記載欄の削除等見直し
- 4 学校の制服について、スカートかズボンかなどを性別に関わらず、生徒が選択できるようにすること
- 5 パートナーシップ制度の導入
※ パートナーシップ制度とは、法律婚ができない同性カップルに対し、自治体が公的にその関係性を認める制度のこと。
- 6 相談窓口等の充実と周知
- 7 だれもが働きやすい職場環境づくりの取り組みをすること
- 8 行政職員や学校教員への性の多様性に関する研修等を行うこと
- 9 わからない
- 10 その他（)

